

# 「次世代経営研究会」発足のご案内及び参加者ご推薦のお願い

一般社団法人品質工学会 事業部会・経営委員会

## 1. 「次世代経営研究会」設置趣旨

日本企業を取り巻く経営環境は非常に速いスピードで変化しており、IT, IoT, AI などの発展に代表されるようにデジタル化が急速に進んでいます。また、国際競争も日々激しくなっている中で、日本企業、特に製造業は顧客への安定供給に支障を来すなどの理由で品質データ改ざんなどの問題が生じるなど、従来の延長での経営スタイルでの行き詰まりが顕在化してきています。研究、商品企画、開発、設計、製造などの現場で一体何が行き詰っているのか、それらを的確に分析すること、そして対策としてこれからの時代に適合するマネジメントをどうすべきかが問われています。

また、これからの時代は地球環境との共存を目指す環境産業革命とも呼ぶべき大きな変革点が迫ってきており、経営全体の課題、問題はますます多岐に渡ってきています。それらへの対応も含めて、経営のツールとして経営の刷新ひいては企業の発展に寄与できる技法開発・プロセス開発を目指し、技術経営の視点で時代に適合した新しいマネジメントを探索することがまさに望まれています。品質工学会では経営者が品質工学の考え方も含めて経営に有効な技法・プロセスを理解し探索することと、それらの実践へのリーダーシップをとって頂くことが企業の競争力強化の鍵であると考えています。加えて企業で実践した有効な情報/実績が社会に発信されることで社会全体に新しいマネジメントの考え方が広がっていくことになると考え、経営者を対象とした事業を企画する経営委員会を設置し様々な活動を行っています。

この度、経営委員会の活動の一つとして 2020 年 10 月に【次世代経営研究会】を設置して活動しています。経営に関する様々な課題を議論し交流を図る会として運営いたします。その目的及び運営形態は以下になります。

## 2. 次世代経営研究会の概要

### 1) 設置目的

経営委員会の使命を具体的に展開するために、経営者として共通する課題を抽出し、それを解決するための情報交換および研究を行う共創の場とします。主に活動する領域を以下に設定しています。

- ①日本企業を取り巻く環境からの様々な課題を抽出し、その解決策を技術経営の視点から議論することにより、自社での経営活動へのヒントを得ていく。

「経営課題の設定の場」

- ②メンバー自身の経営革新への取り組みと課題を共有し、本研究会も含めて学会組織全体で支援して解決していく活動を行い、メンバーに対する実質的な成果に繋げていく。

「共創の場」「普及の場」

- ③日本企業の経営視点での技術活動全体を対象として、「革新と創造の時代」に相応しい適切な経営手段を探求・開発する。 「ベンチマーキングの場」「研究開発の場」

\*活動の展開イメージは以下になります。

日本企業の課題抽出 ⇒ 学会と企業とのコラボ活動で社会貢献 ⇒ 手法の進化、展開

## 2) メンバー構成

運営委員会と一般登録会員で構成します。30名以上登録する予定です。

- ①運営委員会：経営委員会、賛助会員企業、経営学・技術経営学及び品質管理分野の大学教授等で構成しています。後述の運営委員一覧（項4）をご参照ください。
- ②一般会員の対象：企業役員（経営層）、部長クラス、大学教授（技術経営学等）、官公庁役職者、等 技術経営、技術マネジメントに関心がある方

## 3) 活動形態

- ①メンバー講演とパネルディスカッションのセット
- ②メンバーの経営革新への取り組みや悩みを輪番で紹介し議論する。
- ③本研究会に関連する話題を提供いただくゲストの講演
- ④経営研究 WG を設置し、本研究会の設置目的の一つである経営に関する「研究開発の場」を設置し活動する。
- ⑤優れた経営を実践している企業などの見学会（海外も含む）
- ⑥他の団体で運営する経営層対象の研究会・交流会等と共同でのシンポジウム開催。

## 3. 次世代経営研究会会メンバーご推薦のお願い

品質工学会にご支援いただいている皆様に、この本研究会にご参加いただける方の「ご推薦」をお願いする次第です。なお、ご推薦いただいた方々はこの本会名簿に登録させていただき、メンバーリングリストを作成致します。本会の毎回のご案内をそのリストに基づいて送付させていただきます。ご参加を呼びかける所存です。適任者のご推薦を何卒よろしくお願い申し上げます。

ご参加いただく対象者は、民間企業の役員（経営層）、技術部門（研究・開発・設計・生産等）の部門長および部長クラス、官庁本局課長以上、技術経営・品質管理分野の大学教授、等です。貴社並びにお知り合いの企業・機関に働きかけていただき、併せてご推薦をお願い致します。

別紙にご推薦いただく方の**推薦登録用紙**を添付しておりますので、必要事項をご記入いただき、次世代経営研究会専用アドレス E-mail:[keieikenkyukai@office.rqes.or.jp](mailto:keieikenkyukai@office.rqes.or.jp)宛ご送付下さい。

## 4. 運営組織 （2024年1月14日現在）

本研究会内に運営委員会（下記参照）を設置し、企画・運営を担当いたします。

委員長：	谷本勲	元・アルプス電気(株)専務取締役	品質工学会・元会長
幹事：	近岡淳	近岡技術経営研究所・代表	品質工学会・副会長
幹事補佐：	武重伸秀	マツダ(株) 車両開発本部首席エンジニア	品質工学会・副会長
〃	鈴木智雄	コニカミノルタジャパン株式会社ワークスタイルデザイン事業部	ITS 事業企画部 ITS 管理グループ・副部長
			品質工学会・副理事

委員：	天谷 浩一	ティーケーエンジニアリング(株) 顧問
	熊谷保昭	元三菱ふそうトラック・バス株式会社 品質工学会・副理事
	佐藤宗治	コマツ 技術顧問 品質工学会・会長
	塩沢潤一	クオリティクリエイト(株) 元ソニー(株) 品質工学会・副理事
	田口伸	ASI プレジデント 品質工学会・理事
	椿広計	統計数理研究所・所長 品質工学会・前会長 特別顧問
	仲俣千由紀	(株)IHI 執行役員 航空・宇宙・防衛事業領域 副事業領域長
	浜田和孝	Hamada Quality Solution・代表 品質工学会・副会長
	藤本隆宏	早稲田大学教授 品質工学会・理事
	細井光夫	コマツ コマツウェイ総合研修センタ教育企画部 品質工学会理事
	松浦 勝俊	(株)松浦機械製作所 代表取締役社長
	山本涉	慶應義塾大学准教授 日本品質管理学会・理事
	吉原均	JAXA 品質工学会・理事
	吉澤正孝	クオリティ・ディー・スマート(有組)・代表 品質工学会・理事
事務局	金野友香里	品質工学会

## 5. 次世代経営研究会開催形態の基本概要

### 1) 開催頻度、時間帯

三か月に1回開催 第一部／第二部 講演・パネル討論等 15:00～18:00 (約3時間)  
 第三部 懇親会 18:10～19:10 (1時間) ＊リモート開催の場合、懇親会は中止

### 2) 会場

都内ホテル (例：KKR ホテル東京 (竹橋))、公的機関の会議室 等  
**\*新型コロナウイルスが収束するまではリモートで開催いたします。**

### 3) 会費

出席毎に参加費を徴収いたします。

3万円/回 (懇親会込み)。なお、賛助会員企業は20%割引といたします。

リモート開催の場合は参加費1万円/回といたします。

## 6. 定例会プログラム履歴

第1回目～第8回目の開催プログラムは下記内容にて実施しました。その後、3か月～6か月毎に定例会を継続して開催していきます。また、2022年5月より定例会から抽出された重要な課題をさらに深掘りするWG活動も開始いたしました。

第1回：2020年11月17日(火)15時～18時 リモート開催 (Teams)

日本企業を取り巻く様々な課題について講演いただく方を招聘し、提示された課題について参加者全員でパネリストを中心に参加者全員で議論し、重要な課題を浮き彫りにして共有化する。

### (1) 基調講演：

講演者：藤本隆宏氏 東京大学大学院経済学研究科教授

ものづくり経営研究センター・センター長

演 題：「デジタル化と日本のものづくり戦略」

(2) パネル討論：

運営委員数名が基調講演で提示された経営課題に対して、さらに深掘りして共有化していくための質疑を行う。さらにその対策についてのアイデアがあれば、コメントする。

司 会：谷本勲氏 品質工学会前会長 元・アルプス電気(株)専務取締役

第2回：2021年2月15日（月）15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 経営課題の共有化：

登録メンバーの所属企業へ「経営課題とその課題に対する現状での対策」に関するアンケートを事前に依頼し、その整理した資料を発表し共有する。（WG設置して整理）

(2) 基調講演：

企業の経営課題とその対策について、具体的な事例をご紹介いただく。

講演者：武重伸秀氏 マツダ(株) 車両開発本部首席エンジニア 品質工学会・副会長

演 題：「マツダの開発部門における業務変革活動

品質管理および品質工学の考え方の応用」

(3) パネル討論

事例発表で提示された課題に対するQ&Aを行い、課題とその対策について掘り下げる。

司 会：椿広計氏 品質工学会・会長 統計数理研究所・所長

第3回：2021年5月18日（火）15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

経営課題とそれに対する取り組みの実践例をご紹介いただく。

講演者：武部浩太郎氏 コニカミノルタ(株) 技術戦略部第1・GL（部長）

演 題：「イノベーションを創出する技術経営への取り組み」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：吉澤正孝氏 クオリティ・ディープ・スマーツ(有組)・代表 品質工学会・理事

第4回：2021年8月20日（金）15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

経営課題とそれに対する取り組みの実践例をご紹介いただく。

講演者：石川卓哉氏 古河電気工業(株) 研究開発本部サステナブルテクノロジー研究所  
解析技術センター(主査)

演 題：「幅広い事業領域を有するメーカーとしての経営課題とその対策」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：浜田和孝氏 Hamada Quality Solution 代表 品質工学会・副会長

第5回：2021年11月15日（月）15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

経営課題とそれに対する取り組みの実践例をご紹介します。

講演者：岩本祐一氏 株式会社小松製作所(コマツ) 専務執行役員 CTO

演題：「お客様になくてはならない存在になる」ために

コマツのブランドマネジメント活動と顧客価値創造

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司会：原田洋一郎氏 旭化成株式会社 研究・開発本部技術政策室 DX 事業開発部 次長

第6回：2022年2月15日（火） 15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

経営課題とそれに対する取り組みの実践例をご紹介します。

講演者：木下泰三氏

一般社団法人情報処理学会(IPSJ) 事務局長・工学博士（元・日立製作所）

演題：「経営者から見たIoT/AI/DX戦略と先端事例」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司会：野村剛彦氏

古河電気工業株式会社

研究開発本部 デジタルイノベーションセンター・センター長

第7回：2022年5月17日（火） 16時～19時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

経営課題とそれに対する取り組みの実践例をご紹介します。

講演者：戸谷圭子氏

明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科 専任教授

演題：「サービタイゼーションと共創価値の創造

～日本の製造業の現状と向かうべき方向」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司会：宗平雅己様

三菱ケミカル株式会社 福岡研究所 機能性無機材料研究室

第8回：2022年8月30日（火） 15時～18時 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

日本の成長を支えたSQCからTQCへの進化を振り返り、日本企業の発展と衰退への影響分析と課題を紹介いただく。

講演者：椿広計氏

統計数理研究所・所長 品質工学会・会長

演題：「日本の成長を支えたSQCからTQCへの進化を振り返る

～更なる成長が何故出来なかったのかを考えるべき時機では？」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：武重伸秀氏 マツダ株式会社車両開発本部首席エンジニア 品質工学会・副会長

第9回：2023年3月8日（水）15時半～18時半 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

講演者：土屋元彦氏 品質工学会・元会長 元・富士ゼロックス(株)専務取締役

演 題： 「経営とマネジメントの視点から経営革新に果たしたTQCの役割に関する  
考察 ～前回の椿講演に触発されて～」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：吉澤正孝氏

クオリティー・ディーブ・スマーツ（有組）・代表 品質工学会・理事

第10回：2023年10月24日（火）15時～18時半 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

日本には様々な地域と地域の強みを生かした農業がある。日本の農業を総論で語るのではなく、今後の農業にどのようなチャンスがあり、どのようなアクションが考えられるか、議論する。

講演者：大國仁 様 株式会社ACW パートナーズ 代表取締役

演 題：「現場目線で考える日本の農業のこれから」

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：鈴木智雄様

コニカミノルタジャパン株式会社 DXソリューション事業部

ITS事業推進統括部 ITサービス管理部 担当部長

第11回：2024年6月13日（木）15時～18時半 リモート開催（Teams）

(1) 基調講演：

DXレポートによる2025年の崖問題や、生成AIの登場など、企業を取り巻く環境が大きく変化している。本講演では、事業継続のために、ものづくり関連企業が取るべき環境変化への対応策について解説する。また、問題解決のためのDXの導入パターンならびに、常に変わり続けるための企業組織文化とDX人材のあり方についても紹介する。さらに、DX疲れなど、DXの導入を推進する上での課題とその対応策についても明らかにする。

講演者：山本修一郎先生 横幹連合(学会集合組織)DX調査研究会主査

名古屋国際工科専門職大学情報工学科教授、名古屋大学名誉教授、

元 NTT データシステム科学研究所長

**演 題：「事業環境変化に向けた製造業 DX の課題と進化」**

(2) パネル討論

基調講演で提示された課題をQ&Aを行い、さらに掘り下げる。

司 会：鈴木智雄様

ユニカミノルタジャパン株式会社 ワークスタイルデザイン事業部

ITS 事業企画部 ITS 管理グループ 副部長

## **7. お問い合わせ先**

申込みに関しては学会事務局まで、内容に関しては幹事・近岡までお願い致します。

\*学会事務局（金野）：Tel：03-6268-9355 Fax：03-6268-9350

E-mail：keieikenkyukai@office.rqes.or.jp

\*次世代経営研究会幹事（近岡）：E-mail：[jchika@nifty.com](mailto:jchika@nifty.com) Tel：090-4243-8685

以上